

社会福祉士が語る

障害のある方と ご家族の

「親なきあと」に備えて

～後見実務から考える本当に必要な準備～

2021年12月11日 土 13:30 ▶ 16:00 ※13:15開場

- 会場 ウェスタ川越活動室2（埼玉県川越市新宿町1-17-17 / 2階）
- 定員 40名（申込先着順）
- 対象 ご本人・ご家族、障害福祉サービス従事者その他福祉関係者
- 参加費 無料

～主なテーマ～

- 「親なきあと」の準備をはじめの前に知っておきたいこと
- 障害のある子にいくら残せばよいのか
- 自宅をどうするのか（空き家対策）
- 親御さんが亡くなられたときに必要な手続き
- 成年後見制度を利用するタイミング
- 成年後見人がつくとお金を自由に使えなくなるのか



お申し込み方法

お申込み締切：2021年12月5日

QR スマートフォン・タブレットでQRコードを読み取り、
申し込みフォームから必要事項をご入力ください



メール info@habataki-sw.com まで
件名に「12月11日研修参加」と明記のうえ、本文に
①氏名 ②勤務先 / 所属 ③電話番号を入力して送信ください

電話 049-202-2680 まで
「12月11日研修参加」の旨をお伝えください

お問い合わせ

特定非営利活動法人はばたきソーシャルワークス
〒350-0035 埼玉県川越市西小仙波町1-3-19-102
TEL : 049-202-2680 MAIL : info@habataki-sw.com

●講師

代表理事 山口 翔多

大学在学中に社会福祉士を取得。卒業後、障害者支援施設に生活支援員として入職。自閉症・知的障害のある方の直接支援に携わるなかで「親なきあと」の課題を感じ、行政書士事務所はばたきを開業。障害のある方の成年後見業務、親御さんの遺言作成・相続手続きなどの実務に携わりながら、普及啓発活動に注力。2020年「親なきあと」の総合相談窓口として、NPO法人はばたきソーシャルワークスを設立。